

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/09/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

ハリケーンでメキシコ湾の生産落ち込む

NY原油先物相場は、8月29～30日に大型ハリケーン「Ida」がメキシコ湾からルイジアナ州に上陸したことを受けて、週明け30日に69.64ドルまで上昇した。その後は短期的な材料出尽くし感から67.12ドルまで軟化したが、メキシコ湾の原油生産の回復の遅れを手掛かりに、9月2日に70.61ドルまで切り返すなど、改めて地合を引き締めている。メキシコ湾の原油生産は9月3日時点でも93.33% (日量169.9万バレル) が停止している。ただ、製油所やパイプラインも被災や停電の影響で操業に影響が生じており、原油需要に対しては逆に下押し圧力も発生している。

9月1日には石油輸出国機構 (OPEC) プラス会合が開催されたが、政策調整は見送られた。新型コロナウイルスによる需要不安が高まるも、OPECプラスとしては不確実性の高まりを指摘する一方で需要回復と在庫減少に強い自信を維持しており、9月も予定通りに日量40万バレルの減産規模縮小 (=増産) を進めることになった。ただ、マーケットの反応は限定的だった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (8月27日時点) は、原油が前週比717万バレル減、ガソリンが129万バレル増、石油精製品が173万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ハリケーンの供給障害の織り込みは一巡も、高止まり続くか

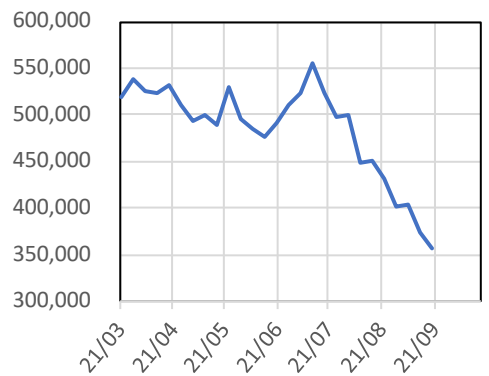
ハリケーンの供給障害の織り込みが一服し、やや上値の重くなる展開が想定される。一方で、新型コロナウイルスに対する過度の警戒感が後退していること、株高・ドル安環境が下値を支え、改めて大きく値を崩すリスクは限定される。65～70ドルのレンジでの値固めが進もう。

ハリケーンによる米石油産業に対するダメージは想定以上に大きく、まずは原油生産、製油所、パイプラインなどの正常化がどのような進むかが焦点になる。原油生産が先行して回復すれば売られる一方、製油所稼働が先行して回復すれば買われる展開になる。ただ、現状では生産障害の織り込みが優勢になっているだけに、前週の反動から調整売りが膨らむリスクがやや高めの状態に移行しよう。

一方で、8月23日の直近安値61.74ドルに向けて改めて急落するようなリスクは限定される。新型コロナウイルスによる需要不安は根強いが、欧米の石油製品需要は底固く推移しており、中国や東南アジア、日本などでも感染被害の拡大に一服感が浮上し始めている。ドライブシーズン終了の季節要因を考慮に入れても65ドルの節目を大きく下抜くようなリスクは限定される。

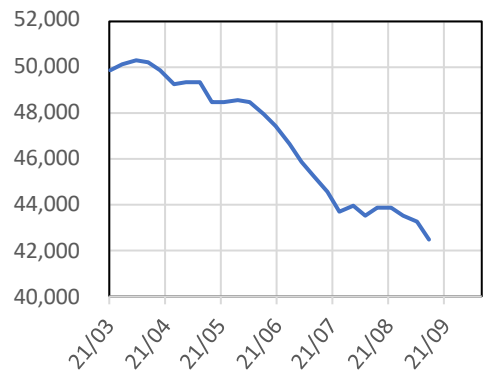
株高傾向が維持され、更にドル安・ユーロ高傾向が一段と進むと、70ドル台を回復する場面がみられる可能性も想定しておきたい。一方、9月7日の中国8月貿易収支で中国経済の減速傾向が示されることが、下振れリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



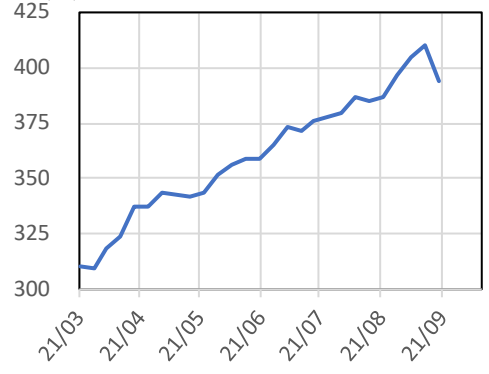
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

